広報
おーいしだ
温か味、おとどけ。
大石田町

2018 3
No.741

平成30年度
施政要旨と予算
P2～7

大石田エトペソラ拡大版
P10～11

ニュース玉手箱
P12～13

■表紙写真
2月17日(土)に行われた「ふたばドレミワールド」。保護者らが見守る中、一生懸命練習した太鼓やマーチングを元気に披露しました。

広報おおいしだ 2018/3 No.741
◇編集・発行 大石田町総務課
〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町1番地
☎0237-35-2111 FAX 0237-35-2118 ◇印刷 (有)印刷文化堂

交通安全は一人ひとりの心がけと、地域・家族の声がけから

交通安全ワンポイント 3
あなたを守る命綱
シートベルト・チャイルドシートの着用を

自動車に乗る際は、全席でのシートベルト着用が義務付けられています。また、6歳未満の子どもを乗せる場合にはチャイルドシートを使用する義務があります。後部座席に乗る場合でも、一般道でも、いざというときの命綱、シートベルトとチャイルドシートは必ず着用しましょう。

事故の衝撃を手足では支えられません

○時速40kmで壁に衝突した場合、シートベルトにかかる荷重は約600kgに達します。成人男性が手で支えられる荷重は約50kg程度で、事故の衝撃を防ぐにはシートベルトを正しく装着するほかにありません。

後部座席でも必ず着用を

○シートベルトを着用していなかった後部座席乗員の事故死者の多くは、衝突時に座席から投げ出されドアやガラス、座席に頭部や胸部をぶつけるなど致命傷を負っていて、前席よりも死亡や重症率が高くなっています。

子どもは必ずチャイルドシートに正しく乗せましょう

○体の小さな子どもは衝突時にシートベルトの間などをすり抜けやすく、車外放出の危険が高くなります。また、ベルトが首にかかって思わぬけがを招くこともあります。子どもの体格にあったチャイルドシートやジュニアシートを正しく使用しましょう。

交通安全指導員を紹介します

大石田町では4名の交通安全指導員の皆さんが、街角に立ち子供たちの通学を見守っています。雨の日も雪の日も、毎朝見守り活動を行っている4人の指導員をシリーズで紹介します。

二藤部慶太さん(四日町)

子どもの安全第一を心がけて街頭に立つ二藤部さん。冬は大変ですが季節の移り変わりを肌で感じることができるといいます。

「特にこの時期になると春が近づいてきたことが感じられます。小さいころから顔を合わせている子どもが中学校の制服を着て登校する姿など、毎日見ている子どもたちの成長を身近で見守ることができ、やりがいを感じます。」と話していました。

楽がき帳

広報担当となって丸3年、デジカメを買って2年半、この間にシャッターを切った回数を調べてみると、なんと9万回超！いくらなんでも撮りすぎです。そんな中、最近古いフィルムカメラを手に入れ、いじくっています。露出補正もオートフォーカスもないカメラです。暗いファインダーを覗いて、露出計を見ながら絞りとシャッタースピードを調整し、リングを回してピントを合わせカシャッとシャッターを切り、フィルムの残数を気にしながらじっくり撮る。まだフィルムは1本も現像に出していないのでちゃんと撮れているのか、そもそも露出計が正しく動作しているのかも分かりませんが、便利さでは比較にならないデジカメで撮る写真も、1枚1枚もう少し大切にしなければと感じています。

(あ)

町の人口 平成30年3月1日現在

世帯数	2,350戸	(±3)
総人口	7,226人	(−12)
男	3,539人	(−4)
女	3,687人	(−8)

(2月中の異動)

出生	0人	転入	3人
死亡	9人	転出	6人